

脱輪事故防止ツールのご紹介

脱輪事故防止には、「正しく清掃する」「適正トルクで締め付ける」「確実に管理・記録する」ことが重要です。
そこでオススメしたいのが、こちらの脱輪事故防止ツールです

ボルト・ナットの清掃

ボルト・ナットの清掃、サビ取りに最適

ボルトクリーナーブラシセット MBC-PC-2 (乗用車用) / MBC-30CS (大型車用)

- ボルト・ナットのサビや汚れ除去を確実・簡単に可能



MBC-PC-2



MBC-30CS



●ハブボルトの錆・汚れ落とし

ナットの仮締め

自動シャットオフ機能で、作業開始後 0.8 秒で自動停止

充電式シャットオフインパクトレンチ MBI-160TX / MBI-250TX

- 締め過ぎによるボルトの「伸び」を防止
- 締め付けモード切り替え機能付き (4段階)



差込角
12.7sq

MBI-160TX



差込角
19.0sq

MBI-250TX

ナットの締め付け

大型車の締め付けを1人で正確に可能

大型車用トルクレンチ TW1000N2

設定トルク範囲 ・400～1,000N・m



差込角
25.4sq

- 動力源 (電気・エア) 不要で、従来の大型トルクレンチの約3分の1の力で締め付け可能

トルク管理+記録に最適

電動式パワートルクセッター ETS-800X / ETS-800XL

型式性能試験合格

設定トルク範囲
・200～800N・m (800X)
・350～800N・m (800XL)



差込角
25.4sq

- 取り回しが容易なコードレス式トルクセッター

締め付け管理システム ETS-800XL-K

- 1本締め付けるごとに締め付けデータをPCに無線送信し顧客、車両情報データをExcel(CSV)で記録



バックナンバーは「WEB CHARGE」に掲載しております。お時間のある時にぜひご覧ください！



ANZEN 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
安全自動車株式会社 TEL(03) 5441-3412 FAX(03) 5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

札幌支店 TEL(011)511-6241(代)	仙台支店 TEL(019)637-8711(代)	郡山営業所 TEL(024)942-5311(代)
盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	仙台営業所 TEL(022)236-1211(代)
盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	仙台営業所 TEL(022)236-1211(代)
盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	仙台営業所 TEL(022)236-1211(代)
盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	仙台営業所 TEL(022)236-1211(代)
盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	仙台営業所 TEL(022)236-1211(代)
盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	仙台営業所 TEL(022)236-1211(代)
盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	仙台営業所 TEL(022)236-1211(代)
盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	仙台営業所 TEL(022)236-1211(代)
盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	盛岡営業所 TEL(019)637-8711(代)	仙台営業所 TEL(022)236-1211(代)

保守点検のおすすめ ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用を
おすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZEN カスタマーサービス 0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせ
は左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索
<https://www.anzen.co.jp>

- 発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25
- ANZEN NEWS CHARGE 113号 (2026年10月発行)
- ※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! >>>>
ANZENメルマガ会員募集中
詳しくは ANZEN ニュース で 検索



自動車整備の最新がわかる ANZEN NEWS



CHARGE



USER REPORT 小型

P.02

株式会社スズキ自販茨城 スズキアリーナ水戸駅南

設備投資をお考えの皆様へ

人手不足時代の設備投資を応援!
中小企業省力化投資補助金
(カタログ注文型)を解説 P.10



2026
Autumn
VOL.
113

USER REPORT 大型

P.06

株式会社ヨシノ自動車 千葉支店



TOPICS

冬用タイヤの交換シーズン前に取り組む タイヤ脱落事故防止

大型車のタイヤ脱落事故は2012年頃から増加傾向となり、2023年には最多となる142件の事故が発生しました。脱輪事故は11月から2月にかけての冬期に約6割の事故が集中しており、冬用タイヤ交換後1ヶ月以内に多く発生する傾向にあることが調査の結果から分かっています。タイヤ脱着作業の半数以上がユーザー自身で実施する一方、約4割が整備事業者、タイヤショップが行っており、整備のプロによる事故事例も後を絶ちません。

主な事故要因としてタイヤ交換において、規定の締め付けトルクで締め付けられていない点やホイール・ナットなどに適切な清掃、潤滑剤の塗布が行われていない

点が指摘されています。また、タイヤ交換後に適切な増し締めが実施されていないことも事故の要因として挙げられます。

タイヤを取り付ける際は必ずトルクレンチを使用し、整備要領書に記載された規定のトルクで締め付けることが必須条件です。また、ホイール・ナットの点検、さび取り清掃や各部位への潤滑剤の塗布も怠ることのないよう、確実な実施が求められます。この他、ホイール・ナットのマーキングはナットの緩みを目視できる効果的な作業です。冬用タイヤへの交換が始まる季節に、これらを日常的に行うことで整備品質向上による事故防止につながります。



P.12
脱輪事故防止ツールご紹介!
ぜひご覧ください

ANZEN
安全自動車株式会社



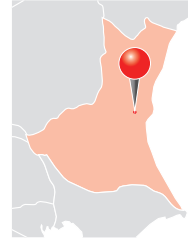
株式会社スズキ自販茨城 スズキアリーナ水戸駅南

By Your Side! 地域に寄り添う旗艦店をオープン
フルフラット整備作業場で整備と検査にイノベーションを



店舗情報

株式会社スズキ自販茨城
スズキアリーナ水戸駅南
茨城県水戸市
城南3丁目2番1号
TEL：029-303-8110
従業員：13名
(うちメカニック6名)
敷地面積：
約3,960平方メートル



今回お話を伺った方



常務執行役員
サービス部品本部長
大島 弘 様



工場長 課長
加倉井 智 様

自家用乗用車の世帯当たり普及台数は1.495台で全国8位の自動車社会を誇る茨城県(一般財団法人自動車検査登録情報協会調べ)で、普及をリードしてきたのが株式会社スズキ自販茨城です。県内全域に20拠点を構え、地域を支える移動のインフラとしての役割を一貫して果たしてきました。その同社が2026年2月、JR水戸駅からほど近い、絶好のロケーションに新店舗「スズキアリーナ水戸駅南」をオープンさせるとともに、本社の移転を行いました。地域とともに歩んできた同社が、「By Your Side=お客様に寄り添う」をテーマに進化させた、新型拠点です。

1,200坪の広大な敷地を活かし、外光を採り入れた明るくゆったりとしたショールームと、最新の設備を導入したサービス工場で構成された新店舗は、同社のフラッグシップショップとして位置づけられています。オープン直後に開催した3日間のイベントでは計700人超のお客様が来場するとともに、オープン後の半年間で約300人の新規顧客を獲得するなど、早くも地域に溶け込んでいることがうかがえます。

整備士が気持ち良く安全に働ける 整備作業環境づくりをコンセプトに

検査ラインを含めて8ストールを並列に配したスケール感の大きいサービス工場は最新の設備を導入しました。大島常務執行役員は「お客様にアピールできる整備工場であり、メカニックが安全に、かつ気持ち良く働いていただくためにサービス事業場をデザイン設計しました」と語ります。また、茨城県は自動車整備の

学校が多いことでも知られており、同社にも多くのインターン実習生が実習に訪れるため、最新の設備は同店のリクルーティングにおいても重要性が高まっています。

整備作業場は“アヴェンタスリフト”と“ステイタスリフト”の導入で、作業場のフルフラット化を実現。美観と安全性の両立を図りました。その“アヴェンタスリフト”は近年スズキが推し進めるEV戦略を鑑み、駆動用バッテリーの脱着作業も視野に入れています。また、検査ラインにはトータル車検システム“ラインマスター”と検査時撮影システム“車両画像撮影システム”、そして全自動ヘッドライトテスター“HLI-2023”を導入。コンプライアンス強化と効率性の向上を図りました。「検査員のミスなどの徹底排除と、みなし公務員である検査員もミスが許されない重圧から解放されたことが大きいです」と大島常務執行役員。検査業務のオートメーション化が進められています。

また、アライメントテスターも同社初の導入例となりました。

「これまで外部に委託してきたアライメント診断・調整を内製化することで、収益性が高まり、また自社で作業を行うことでお客様に明確な結果をスピーディーにお伝えできるようになりました」と加倉井工場長。他店からの依頼もあり、導入効果は日に日に高まっています。

お客様へのサービス品質の向上、整備士にとって快適に働ける作業場、お客様と地域、そしてスタッフにBy Your Sideする次世代のモビリティ拠点が誕生しました。

ショールーム



▲JR水戸駅にほど近い駅南通りの新店舗は絶好のロケーション。駅南エリアの新たなランドマークに



▲広さと明るさがもたらす心地よさと寄り添いのショールーム



▲広いキャノピーも新店舗の特徴のひとつ。そのキャノピーを抜けて帰路につくお客様に感謝のお見送り



▲水戸駅南店のフロント。2階に本社機能を移転



▲社屋2階にはスタッフの心身をリセットするカフェテリア



▲広大な敷地をふんだんに利用し、お客様の駐車枠をはじめ、認定中古車の展示、そして新車のプールなど、余裕の駐車スペースを確保



▲自然光をふんだんに採光するガラスウォールで開放的な空間づくりを演出



▲深みのある色調で整えられた商談デスク



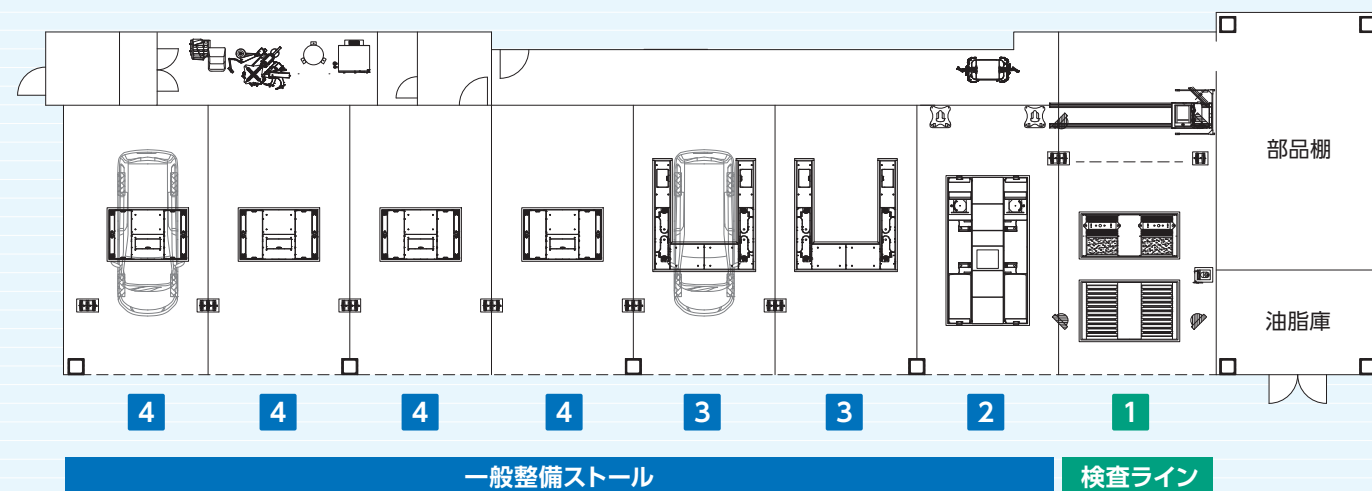
▲キッズスペースもワイドサイズで設備し、ファミリー層のお客様をおもてなし



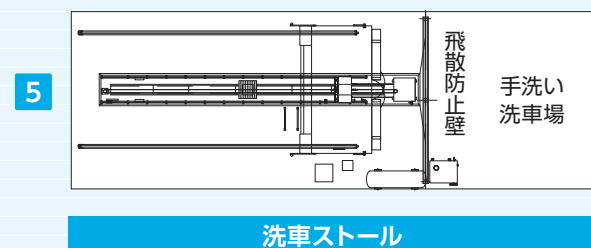
▲他店から水戸駅南店のメイン検査員として配属された寺島裕也さん。自動化が図られた各検査機器は「使いやすく効率と時間短縮に繋がっています」とのこと。「また、リフトについても安全性が強化され、働きやすさを感じています」と業務への意欲はますます高まっているようです

図面でわかる！
ここがポイント！

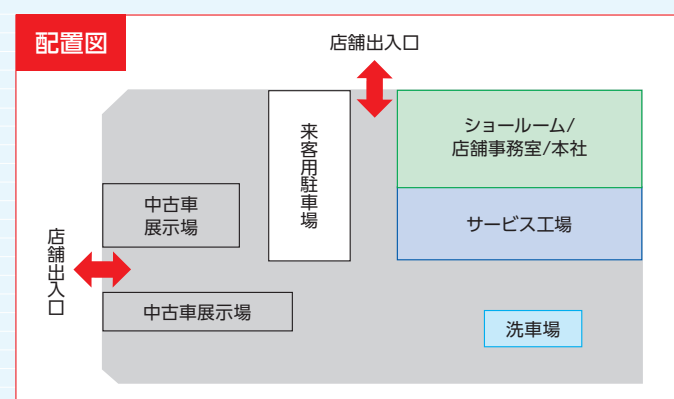
整備と検査のオートメーション化で
検査員の身体的・心理的負担を軽減



- 1 検査ライン(ラインマスター+車両画像撮影システム+カラー画像処理方式全自動ヘッドライトデスター+ハイブリッドデスター+多軸式フリーローラー)
- 2 マルチアライメントリフト (MUS30HUF)
- 3 アヴェンタスリフト (ASC32U)
- 4 ステイタスリフト (ESC32UF)
- 5 門型洗車機 (CMGS400J) +下部洗浄装置



このページに掲載している
機器のカタログをご覧ください



営業担当者のココがポイント！

初めてスズキ自販茨城スズキアリーナ水戸駅南様(本社&店舗)の新工場計画に携わることができましたこと感謝申し上げます。サービス工場はフラット&フラット(リフトを上げても下げても)また工場内はバックでの進入が全ての方々(お客様、社員)の安全面を考慮した自販茨城様のこだわりでありスタンダードです。本社工場としてアライメントデスターも導入され、全ての整備を完結することができます。今後はアフターサービスを充実させご提供できるよう努めます。



左：常務執行役員 大島様 中央：工場長 加倉井様 右：水戸営業所 白崎



▲サービス工場外観。最新の設備と高度な技術でお応えるサービスショップ



▲8スツールを並列に並べた整備作業場。車両をバックで入庫するのが同社ルール。これにより、構内の事故ゼロに



▲スイング機能付きの空調を設備し、自動のシートシャッターとの併用で快適整備を実現



▲スマートな検査を具現化した検査ライン。“ラインマスター”の導入でコンプライアンスと生産性を強化



▲“車両画像撮影システム”を採用し、検査のコンプライアンスを強化。検査中に固定カメラで撮影・記録をすることにより、不正車検防止に寄与



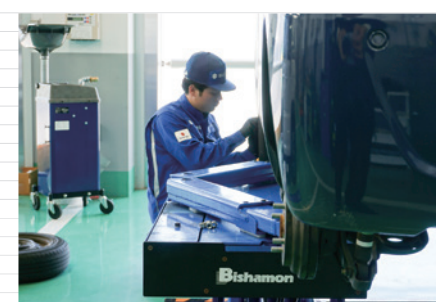
▲全自動ヘッドライトデスター“HLI-2023”を導入。精度と効率性で検査を革新する



▲“3Dホイールアライメントシステム”を導入。アライメント診断・調整を内製化



▲“マルチアライメントリフト”も完全埋込式フラット仕様をチョイス



▲整備用リフトは“ステイタスリフト”4基と“アヴェンタスリフト”2基納入



▲タイヤチェンジャーは省スペースモデルのウイングシリーズ。ホイールバルancerは高精度なスタンダードモデル“neo221”でタイヤサービスを構築



▲防音性と節水を重視し、門型洗車機は“ジズペクトIII”(CMGS400J)を納入



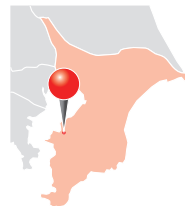
株式会社ヨシノ自動車 千葉支店

メカニックの生産性や快適性を重視しつつ 遠い将来も見据えた「工場らしくない工場」



店舗情報

株式会社ヨシノ自動車
千葉支店
千葉県木更津市潮浜2-1-15
TEL：0438-38-4940
従業員：20名
(メカニック12名)
敷地面積：
6,800平方メートル



今回お話を伺った方



代表取締役社長
中西 俊介 様



左：代表取締役社長 中西 様
中央：常務取締役 高橋 様
右：東京支店 支店長 新井 様

1959年に神奈川県川崎市で設立された株式会社ヨシノ自動車は、国産商用車メーカーの新車・中古車販売およびトラックレンタル事業を中心に成長を続け、2000年にはボルボ・トラックと代理店契約を締結して同ブランドの正規ディーラー事業を開始。2012年にはウガンダ、2015年にはUAE・ドバイにも現地法人を設立するなど、グローバルに事業を拡大し続けています。さらには、オリジナルのトラック架装ブランド「FastElefant(ファスト・エレファント)」を2018年より展開。オリジナルパーツは、エンドユーザーのみならず他のボルボ・トラックディーラーとの取引も多いといえます。

こうした中で自動車整備は、これまで川崎本社のみで対応していましたが、予防整備の考え方の導入と新車販売台数の成長を受け、「販売と整備のバランスを取る必要があると8年以上前から感じ」(中西社長)、2026年5月、「FastElefant」の架装工場を川崎本社から移転のうえ、新たな整備工場、そして新車・中古車販売拠点を含めたオフィス棟を併設する千葉支店を、木更津港近隣に新規オープン。「工場らしくない工場」をコンセプトに掲げる、全く新しいサービス拠点が誕生しました。

このようなコンセプトのもと千葉支店が作られた背景には、中西社長が抱く将来への危機感と、人とのコミュニケーションを大切に強い想いがあります。

「今後10年から20年は自動車整備事業も続けられますが、その先はドローンの進化や自動物流道路の設置など、トラック物流自体がどうなるか分かりません。仮に新しいビジネスモデルができたとしても、根幹となるのは人との出会いやコミュニケーションだと思うので、この拠点がそうして新たなものが生まれる場にしたいと考えました」(中西社長)。

こうして生まれた千葉支店のオフィス棟は、吹き抜けが広く取

られ、来客用の応接スペースは自然と芸術、持続可能性が融合した開放的な空間とされ、社員用の事務所や会議室もガラス張り、物理的にも心理的にも壁のない場となっています。

そして整備工場も、「工場らしくない工場」をコンセプトにしながら、メカニックの生産性や快適性を重視した、独創的な空間となりました。

「ただ安全を表す黄色ではなく格好良い」特注の山吹色で塗装された「自立式リール架台」を導入のうえ、オイル交換は移動式オイルチェンジャー“配管いらず”で対応。共用工具を“回転工具台車”で整然と配置するなど、工場内の美観と作業効率の向上を高次元で両立させています。

そして、「入庫台数の7割以上がボルボのトラクターヘッド」という特性に合わせ、2台同時作業やトレーラー装着状態での作業が可能になる全移動式の“4柱式ツインパワーリフト”を2基導入し、車検整備や一般整備、クラッチオーバーホールなどに活用。また油脂類交換などのクイック整備に便利な“2分割フロアリフト”も1基導入しています。

さらに今年中の指定工場取得を目指して設置した車検ラインには、“ラインマスター”を導入。「川崎工場では検査員2名で行っていた検査と記録業務が、現在では1名で対応できるようになった」と、省人化と作業効率の向上に貢献しています。

数多くの加工機を備える「FastElefant」の架装工場には、“ファイバーレーザー溶接機”を新たに導入。メカニックからは「ステンレス溶接もさびにくい」と好評です。

この「工場らしくない工場」が大きな反響を呼び、「採用活動にもプラスの影響を生んでいる」ヨシノ自動車千葉支店は、すでに地域や業界全体の牽引役となりつつあります。

オフィス棟



▲屋内全体を吹き抜けとして開放感を最大限追求したオフィス棟。植木のみならず各部の天井にも植栽が配置されたほか、受付カウンターには兵庫県産・樹齢300年の大木を用いた彫刻家・向山聖氏の作品が用いられている



▲2階から出られるバルコニーを南北に設置。写真の南側からは広大な駐車場が望める



▲ペインター・AICON(アイコン)氏の作品「よしま」が描かれた2階のフリースラウンジ。テーブルは全てリサイクル材が原材料



▲フランス・Roche Bobois(ロッシュ ボボア)のソファをふんだんに用いた応接室



▲1階のバーカウンターには出羽三山由来・樹齢300年の大杉を用いた彫刻家・大平龍一氏の作品を使用。業務用コーヒーマシン・UNIC TANGO ACEですっきりした味を楽しめる



▲メカニックの更衣室とシャワールームも清潔感溢れるモダンな空間

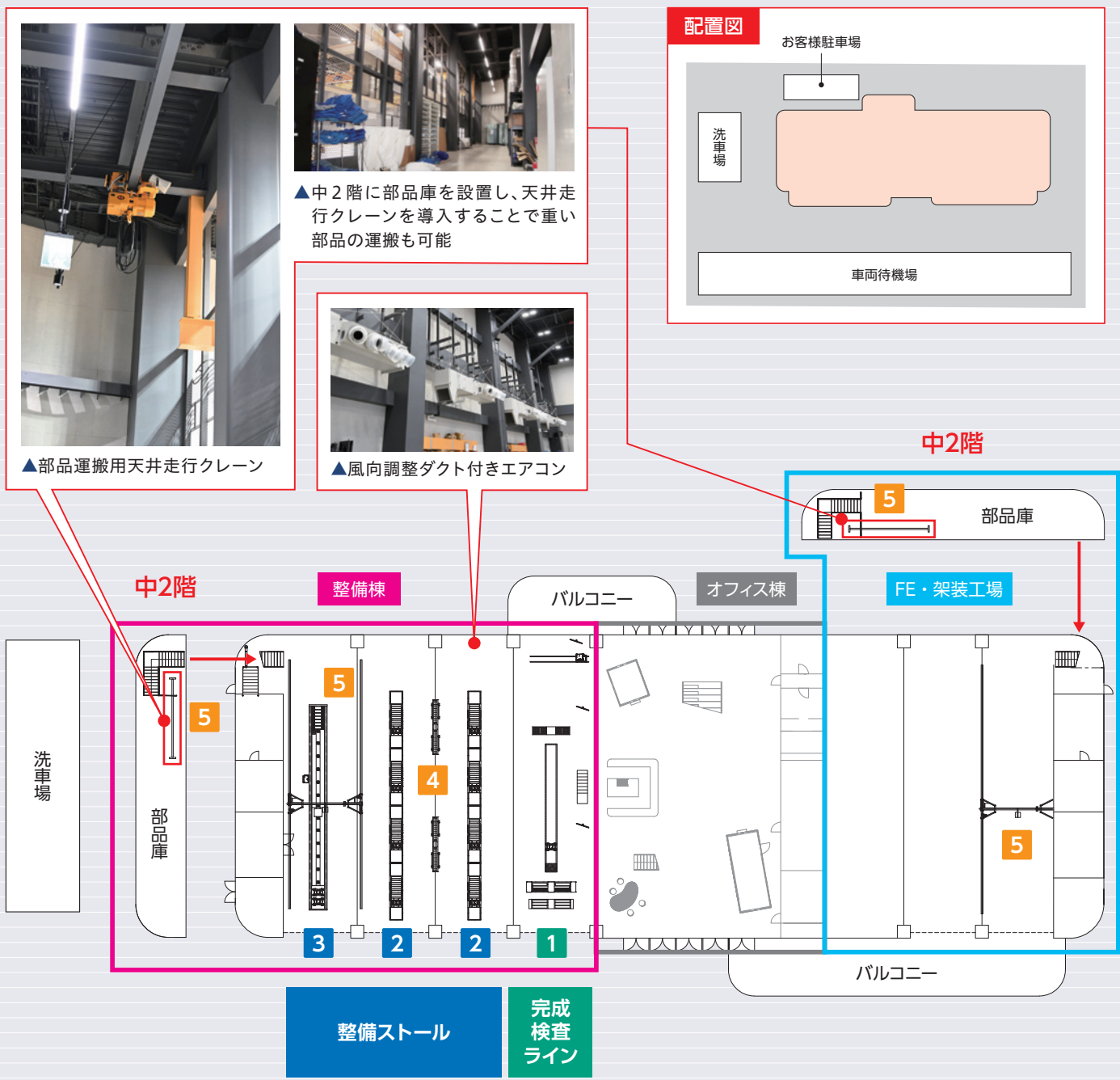


▲1階の事務所(左)と2階フロアより上側の会議室(右)はいずれもガラス張り



図面でわかる！
ここがポイント！

大型車整備のニーズを支える、
多車種対応×空間活用×美観設計の工場



- 1 完成検査ライン (ラインマスター+カラー画像処理方式手動ヘッドライトテスター+フラットBSテスター+サイドスリップテスター+フリーローラー+ピットリフト)
- 2 全移動式4柱ツインパワーリフト (TWPF60N) ×2基
- 3 2分割フロアリフト×1基
- 4 自立式リール架台×2基
- 5 天井走行クレーン×4基
- その他 配管いらず×2基、回転工台車×3基、タッテラーZ×4基、ホイールドーリー×4基



このページに
掲載している
機器のカタログを
ご覧いただけます



▲サービス工場全景。各ストールに空調を完備のうえ出入口にロールシャッターを設け冷暖房効率をアップ。特注の山吹色で塗装した“自立式リール架台”や“天井走行クレーン”を導入するなど工場美観も最大限追求した



- ▲全移動式の“4柱式ツインパワーリフト”は連結状態のトラクター&トレーラーやトラクター2台の同時整備も可能
- ▲移動式オイルチェンジャー“配管いらず”はオイル飛散防止による美観向上にも寄与
- ▲純水発生装置を屋内の湿度調整用に使用しミネラル分などによる配管の目詰まりを防止
- ▲完成検査場には“ピットリフト”を導入し床下からブレーキやサイドスリップの点検・調整を可能にした

架装工場 (FastElefant)



▲金や銅の壁面が目を引く架装工場(左)にはベンディングマシン(中央)などの本格的な加工機を導入し、新製品の試作や特注品の製造に対応。“ファイバーレーザー溶接機”(右)はサビの発生を抑えたステンレス溶接に効果を発揮

——— 手続きが簡単で、活用しやすい補助金が登場！ ———

中小企業省力化投資補助金(カタログ注文型)

- ☒ 簡単な事業計画
 ☒ 申請～採択までが早い
 ☒ 賃上げ不要
 ☒ 単品でもOK

サイトに掲載されている補助金対象商品を選ぶだけのシンプルな仕組みです！

制度の概要

名 称	中小企業省力化投資補助金(カタログ注文型)
対象要件	資本金5,000万円以下もしくは従業員100人以下 いずれかを満たす ・ <u>人手不足</u>の状態にある中小企業(個人事業主含む) ・ <u>3%以上の労働生産性を向上</u>させる事業計画の策定
特 長	あらかじめ国が認定した「カタログ」から <u>省力化製品を選んで導入すれば、費用の半額が補助</u> される制度
対 象	カタログ登録済の省力化製品
募 集	随時受付(～2027年3月末まで)
申 請	販売事業者(安全自動車)がサポート

補助上限額

補助率は2分の1、従業員数に応じて補助条件が設定されています ※補助上限額に達するまでは、複数回に分けて申請可能

従業員数	補助率	補助上限額	※大幅な賃上げを行う場合
5名以下	$\frac{1}{2}$	500万円	(750万円)
6～20名		750万円	(1,000万円)
21名以上		1,000万円	(1,500万円)

登録済の省力化製品(2026年8月時点)



自動車用全自動
フロンガス回収
充填装置



自動車両洗浄機



スポット
溶接機



ファイバーレーザー溶接機

※詳細の商品型式については、最寄りの支店・営業所までお問い合わせください

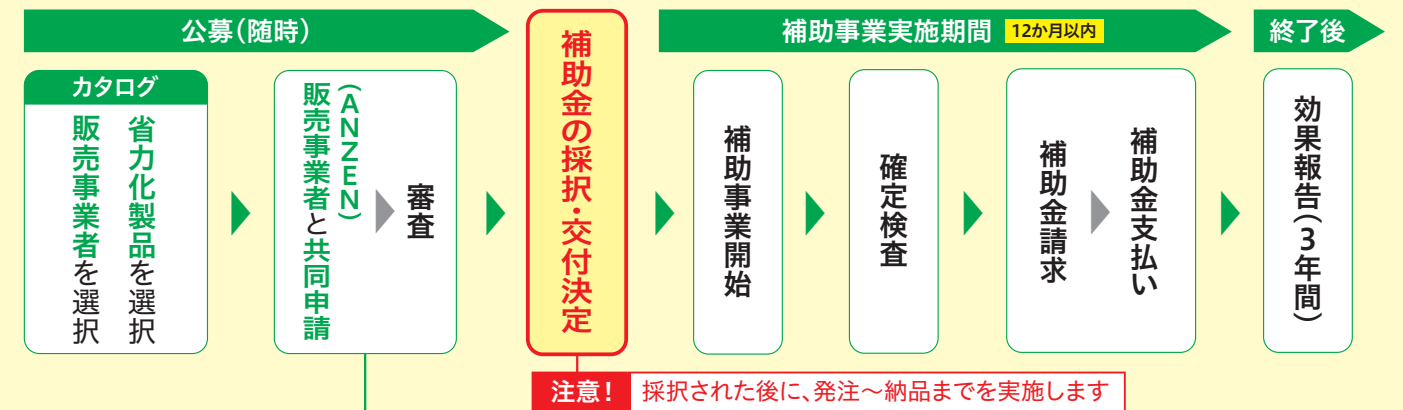
申請中

登録商品は
随時更新されます
都度お問い合わせ
ください



申請の流れ

申請には、販売側の販売事業者登録が必要になります ※安全自動車はすでに登録済み
登録販売事業者(ANZEN)とお客様に申請に必要な情報を入力・確認しながら共同申請を進めます
※販売店経由での購入の場合は、販売事業者登録の有無をご確認ください



共同申請

ご利用が確定したら…

ANZENから「申請招待メール」を送付しますので、
右記手続きを進めてください

- 1 招待メール内のURLをクリック
- 2 「GビズIDプライム」でログイン
- 3 事業者情報・事業計画の入力、提出書類の添付
- 4 交付申請

申請の上での注意点

- ⚠ 交付決定前の購入や納品済み製品は対象となりませんのでご注意ください
→ 必ず補助金事務局から「交付決定」の通知を受けた後に、発注・納品・支出を行う必要があります
- ⚠ 補助金は、一旦全額支払い(立て替え)となります
→ 補助金は、購入・事業実施後に実績を確認した上で交付される後清算方式です ※購入時に補助金分が差し引かれることはありません
- ⚠ 申請から納品までは約3か月～6か月を想定してください
→ すぐに納品を求めるお客様には本補助金は向きませんので余裕を持って申請を進めてください

中小企業省力化補助事業ホームページ

本補助金の詳細や
対象の省力化製品(カタログ)
公募要領などはこちら▶
<https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



本件に関する
問い合わせ先

メール：
hojokin@anzen.co.jp
 電話：
03-5441-3415
 営業企画部
販促企画グループ